



第27回 海岸クリーンアップ

Let's clean the beach!

参加者募集

1997年の「ナホトカ号重油流出事故」をきっかけに毎年実施し、今年で27回目になります。



9月7日(土) 9:00~10:00
鷹巣海水浴場



9月14日(土) 9:00~10:00
三国サンセットビーチ

持ち物 ゴミ袋は事務局で用意します。その他の帽子・軍手・汗拭きタオル・火はさみなどは各自ご用意ください。

※悪天候により、事前に中止する場合があります。
その際にはホームページに中止のご案内をいたしますのでご確認ください。
※行事保険に（事務局負担で）加入します。





お申し込み・お問い合わせは 福井県生協連合会まで

福井県生活協同組合連合会機関誌

ふくい生協

福井県生活協同組合連合会
〒910-0842 福井市開発5丁目1603番地（県民生協本部センター内）
TEL0776-52-8815 FAX0776-52-2050 Eメールアドレス kenren@fukuicoop.or.jp

<http://www.fukui.coop/kenren/>

2024年8月2日 No. **144**

福井県生協連合会

検索

県連総会

6月6日(木)

福井県教育センター4階大ホールにおいて、第49回福井県生活協同組合連合会通常総会を開催しました。当日は、福井県防災安全部副部長 田村光幸氏に来賓として出席いただきご祝辞をいただきました。佐野誠副会長理事の開会宣言の後、福井県学校生協の篠下淳哉代議員が議長として選任され、続いて理事会を代表して松宮幹雄会長理事が挨拶し、以下の全議案が可決承認されました。

可決決定された議案

第1号議案 2023年度活動報告・決算報告及び剰余金処分案承認の件

第2号議案 2024年度活動方針及び収支予算決定の件

第3号議案 役員(理事2名)補充選任の件





本総会の終結をもって、6年間役員としてお骨折りをいただきました、福井大学生協の堀内紀宏氏が退任されました。これまでのご尽力に心から感謝を申し上げます。また、新役員として、坂浩氏（福井県労済生協）と新田大地氏（福井大学生協）が就任されました。今年度の役員体制は下記の通りです。

2024年度 新役員体制（敬称略）

理事9名 監事2名

会長理事	松宮 幹雄	（福井県民生協 理事長）
副会長理事	佐野 誠	（福井県医療生協 専務理事）
副会長理事	坂 浩	（福井県労済生協 専務理事）
専務理事	織田 良	（福井県生協 組織ネットワーク支援部 部長）
理事	武田 道夫	（菅浜生協 理事長）
理事	橋谷 和憲	（福井県学校生協 専務理事）
理事	吉岡 史郎	（福井県庁生協 専務理事）
理事	檜原 弘樹	（福井県民生協 専務理事）
理事	新田 大地	（福井大学生協 専務理事）
監事	千本 茂樹	（福井県庁生協 事務局次長）
監事	北山 順治	（福井県学校生協 課長）





引き続きくらしを守る視点を大切に、また、会員生協のさまざまな取り組みの紹介を積極的に発信していきます。今後とも、より一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげ、ご報告とさせていただきます。

2024年

会員生協総代会報告

第47回通常総代会

2024年6月15日(土)

武生商工会議所
4階パレットホール

福井県
医療生協

「健康をつくる 平和をつくる いのち 輝く社会をつくる」をテーマに第47回 通常総代会を開催しました

福井県医療生協の第47回通常総代会を、6月15日に越前市の武生商工会議所で開催しました。2023年度活動報告と事業報告・決算」や「2024年度運動方針・予算」について提案があり、質疑と討議を経て全議案が採択されました。

天津理事長のあいさつでは、「新型コロナウイルス感染症で一変した生活が、5類に移行するなかで能登半島地震が発生。今まであったつながりが一瞬になくなる経験をしました。みんなが最期まで地域に住み続けられる健康づくりが大切で、医療生協が目指す本質です。」と述べました。「健康づくり・まちづくり・社会づくり・組織づくり」の4項目について、発言者が生き生きと報告し他団体との交流や多様なつながりと広がりが確認できました。

2024年度も子どもからお年寄りまで、誰もが健康で居心地よく地域で暮らせるよう、世代や組合員の枠を超えた多様な参加で「でかける・つながる・安心を結ぶ」の取り組みを進めていきます。



第46回通常総代会

2024年6月20日(木)

フェニックス・プラザ
エルピス大ホール

第46回通常総代会を開催しました

6月20日(木)、福井市のフェニックス・プラザ エルピス大ホールにて、第46回通常総代会を開催しました。総代495人中、483人(本人出席159人、書面出席324人)に出席いただきました。総代会では3つの議案が提案・討議され、採択の結果、すべての議案が圧倒的賛成多数で可決承認されました。

松宮理事長あいさつのうち、来賓を代表して福井県知事代理の田村防災安全部副部長と西行福井市長よりご挨拶をいただきました。議事では3議案を檜原専務理事より提案し、6人の総代からいずれも前向きな発言をいただきました。

松宮理事長 挨拶(要旨)

世の中が揺れ動く中、組合員の暮らしは厳しいものとなり、生協の事業運営にも大きな影響を及ぼしました。2023年度の事業経営結果は、前年に比べ、事業高は微増、経常剰余金は減益と厳しい結果になりました。しかし、重要経営指標である組合員数の拡大や経常剰余金の計画は達成することができました。

2024年度、県民せいきょうは将来に向かって新たな成長戦略を描いていきたいと考えております。具体的には

- ①敦賀さらめきのサービス付き高齢者向け住宅を7月に開所する
- ②ハーツ恐竜 福井駅東(11号店)を9月にオープンする
- ③宅配DXをより一層進め、自宅外でも受け取り可能な宅配ステーションを拡大するとともに、地域に置き配ロッカーを設置するなど新たな試みを進める
- ④共済事業では、出生前から共済に申込ができる出生前申込制度を9月から実施する
- ⑤敦賀市での水力発電事業は2025年春に運転開始をめざす
- ⑥生協における誰ひとり取り残さないを具体化するSDGsの活動では、環境保全活動やフードバンク、フードドライブといった困窮対策も引き続き進める

「人と社会に思いやりのある生協を根付かせよう」をスローガンに、2024年度も、組合員の幸せと地域社会のために、県民せいきょうも全力で取り組んでいく所存です。

第67回通常総代会

2024年6月28日(金)

福井県教育センター
4階 大ホール

福井県
学校生協

第67回通常総代会を開催しました

2024年6月28日(金)、福井県教育センター4階大ホールにて、第67回通常総代会を開催しました。出席総代43名、理事19名、監事4名、来賓6名、合計72名(書面議決書65名)を得て開催し、次の議案を承認いただきました。

- 第1号議案 令和5年度事業報告及び決算関係書類承認の件
- 第2号議案 役員選任の件
- 第3号議案 令和6年度事業計画及び予算決定の件
- 第4号議案 監事監査規則の一部改正の件
- 第5号議案 役員報酬決定の件

2024年度基本課題

- 1【組織】 コンプライアンスに沿った組織運営を行い、現職組合員の拡充と退職継続組合員の管理を進め、組織の活性化を目指します。
- 2【経営】 事業を継続するため経営数値の改善を図り、学生協として協同と連帯に貢献できる人材の育成を進めます。
- 3【事業】 社会構造の変化に対応した事業の再構築を進め、事業剰余金での黒字を目指します。
- 4【連帯・社会貢献】 全国組織として協同と連帯をさらに推進し、教職員を取巻く内外の関係団体との提携を進め、各地の被災地の復興に貢献します。



福井
県民生協



第67回通常総代会

2024年6月24日(月)

福井県教育センター

福井
県庁生協

組合員の生活の維持・向上を図り、 福利厚生の一翼を担う使命感の下、 各事業や組織風土の改革に取り組みます!

県庁生協第67回通常総代会は、6月24日(月)午後3時から、福井県教育センターに於いて、本人出席30名、委任44名、書面議決27名、合計101名(総代総数120名)の出席を受け開催され、田邊理事長の挨拶の後、福井県県民安全課の坪田課長からご祝辞をいただきました。次に、坂本康一氏(生活学習館総代)を議長に選出し、議事が進められました。事務局から提案された各議案はすべて承認可決されました。

私たち県庁生協は、母体である福井県や県庁職員組合と連携して、組合員の生活の維持・向上と福利厚生の一翼を担っています。しかしながら、コロナ禍後の組合員の働き方の変化や物価高騰、賃金の上昇に伴う人件費増など、生協の経営をめぐる状況は厳しさが増す一方です。2023年度の決算は、2年ぶりに黒字決算となりましたが、人手不足・人材不足の加速が大きな懸念材料となっています。

2024年度は、組合員の働き方や価値観、ライフスタイルが多様化する中、これまでの前例にとられない各事業の見直しと改善の取組を強め、期待に応えられる組織風土づくりと経営基盤の強化に努めます。



第54回通常総会

2024年2月23日(金)

海のくらし館

菅浜
生協

菅浜生協の総会は2月23日に開催されました

菅浜生活協同組合第54回通常総会が、2024年2月23日(金)に組合員数120名中、本人出席48名、委任状14名、書面議決26名で成立し開催しました。

コロナ禍以降来客数の減少が止まらない中で、経過報告では当局から厳しい経営状況の中、組合員の組合離れが顕著になってきていることから、生協存続のためにも生協利用をお願いしました。組合員からは、当局の販売力

強化の為の更なる経営努力を期待するとの意見がありました。

そのことを踏まえ、

- ・地元産の農水産物の販売
- ・取扱商品の見直し
- ・店内商品の配置の見直しを、改革案として取り組んでいきます。

当生協をいつまでも存続させていくことが、地域貢献であると役員一同再認識し、経営安定のため取組むことを確認しました。

第70回通常総代会

2024年5月23日(木)

福井大学 文京キャンパス
教育系1号館 大1教室

福井大学
生協

第70回通常総代会を開催しました

総代110名のうち、本人出席44名、書面出席37名、合計81名に出席いただきました。総代会では5つの議案が提案・議論され、採択の結果、すべての議案が圧倒的多数で可決されました。

コロナ禍を経て、学内は徐々に賑わいを取り戻しています。食堂では、昼食と夕食の間の時間帯に「おやつタイム」としてホットスナックやコーヒーなどの提供を行い、組合員の憩いの場を目指しました。「酒かすプリン」も好評で、県民生協の皆様と連携して、地域で愛される商品を提供できたことを報告しました。

一方で経営は苦しく、経常剰余金は昨年に続き赤字となり、▲1035万円を計上しました。積立金を取り崩すことで次期繰越損失金はありますが、2024年度も経常剰余金▲487万円を予定しており、厳しい状況が続きます。

この状況を打破するには、組合員の利用の結集、供給高(とりわけ客数)にこだわる必要があります。2023年度に掲げた目標である「+1回の利用」を、改めて全店舗で確認して、組合員の声に応える生協を目指すことを確認しました。



I. 2024年度推進活動計画を 6月上旬に地区推進委員会 (県下5会場)で討議

基本方針(コンセプト)

「お役立ち発想」と「共創活動」にデジタル技術を取り入れた「新しいたすけあい」を創造・実践のうえ「こくみん共済 coop スタイル」の定着をはかり組合員や協力団体等と一緒に「たすけあいの輪」をむすぶ活動を展開していきます。

推進活動の重点課題

- ①保障点検・見積活動・社会課題と連動した取り組み等を通じて、「住みいる共済」および2025年4月に商品改定する「マイカー共済」の推進を強化します。
- ②組合員の遺族・医療・老後・介護保障の充実に向けて、「こくみん共済」・「長期生命共済」(貯蓄性商品含む)の推進を強化します。
- ③「新しいたすけあい」の基盤となる「公式アプリ」のさらなる導入促進・利活用をすすめます。

II. 「能登半島地震」の被災者対応状況について

2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」への対応では、甚大な被害に迅速に対応していくため、全国から職員を派遣し、被災された組合員の皆様への対応を最優先課題として総力をあげて現地調査活動に取り組みました。2024年7月11日時点において、全国で被災受付件数は21,055件、調査完了件数は19,656件、調査完了率は93.4%、支払共済金は総額で140億7286万円となっています。引き続き最後のお一人まで寄り添った対応をおこなっていきます。

III. 「防災・減災フェア2024」の開催について

【日時】2024年10月5日(土) 10:00~14:30

【場所】ユニオンプラザ福井(福井市問屋町1-35)

【主催】福井県労働者福祉協議会、

こくみん共済 coop 福井推進本部(福井県労済生協)

今年も「防災・減災フェア2024」を開催いたします。近年多発している自然災害に備えていただくための様々な情報発信をおこなってまいりますので、ぜひご家族でご来場ください。



福井県労済生協の総代会は、7月29日に開催されました。次号に掲載します。